

補助金・交付金チェックシート (No.1)

補助金名 (交付金名)	郷土芸能函館巴太鼓振興会事業補助金	開始 年 度	平成 2 年度
----------------	-------------------	-----------	---------

団 体 名	郷土芸能函館巴太鼓振興会
-------	--------------

助成の根拠既定等 (条例・規則・要綱等)	函館市補助金等交付規則
-------------------------	-------------

○補助事業の内容および目的・効果

内 容	当該団体は、函館巴太鼓を普及・発展させることを目的として組織され、市内主要行事への参加や、市の観光PR、打出メンバーの後継者養成等を行っている。
目 的	(目 的) 「函館巴太鼓」を郷土を代表する芸能として普及・発展させることを目的とした団体であり、会の運営を支援するため。
・ 効 果	(効 果) 本市の観光PRや観光客の歓迎、イベントの盛り上げなど多方面にわたる活動により、本市における伝統芸能の普及・振興に貢献するほか、活動部員の主体である青少年の健全育成や社会教育の面においても貢献することが期待される。

○補助事業の収支状況

(単位：千円)

	年 度	助 成 金		事業収入	会 費	繰越金	雑収入	計
		市	その他					
収 入	26 (決算)	405		1,554	350	172	89	2,570
	27 (決算)	405		1,130	345	159	18	2,057
	28 (決算)	405		1,400	345		39	2,189
	29 (決算)	390		1,905	440		156	2,891
	30 (決算)	390		1,200	410		26	2,026
支 出	年 度	事務費	事業費	雑費等				計
	26 (決算)	283	2,107	20				2,410
	27 (決算)	296	1,717	44				2,057
	28 (決算)	283	1,869	37				2,189
	29 (決算)	354	2,524	13				2,891
	30 (決算)	588	1,388	50				2,026

補助金・交付金チェックシート(No.2)

補助金名 (交付金名)	郷土芸能函館巴太鼓振興会事業補助金
----------------	-------------------

○基本的視点の再チェック

基本的視点		適	不適	説明
1	公益性 (明確な公益性があるか) ①広く市民生活の向上に貢献する事業 ②市民ニーズが高い事業	☒ ☒ ☒	☐ ☐ ☐	函館巴太鼓振興会は、郷土芸能の普及・発展を目的とし、卸売市場の初せり式や町会の夏まつり・福祉施設慰問など、市内の祭礼行事や市の主催事業および市内の一般行事に数多く参加しており、広く市民生活の向上に貢献している。
2	必要性(補助しなければならない事業であるか)	☒	☐	本市を代表する郷土芸能であり、活動主体部員である青少年の健全育成に貢献するとともに、「函館巴太鼓」を普及・発展させていくうえで、円滑な運営を図るため補助する必要がある。
3	自主性(自主自立に向け努力しているか)	☒	☐	事業実施による出演料収入の確保に努めているほか、会員の増による会費収入の確保にも力を入れている。
4	有効性(他の手法ではなく補助することが、施策目的実現に最適か)	☒	☐	伝統芸能の普及・振興という団体の性質上、市が主体となって運営することはできないため、現在の方法が最適である。

※適・不適であっても、説明欄は必ず記載してください。

○財政的視点のチェック

財政的視点		不適	不適の場合の理由と今後の対応について
1	積算内訳は、前年踏襲となっていないか	☐	
2	補助金等の使途は適切である	☐	
3	積算基準は定められている	☒	当該補助金は、団体からの要望に基づき、団体の活動目的や活動内容を確認した上で、教育政策的な意図を以て支出していることから、積算基準を定めていない。
4	補助割合は、補助対象経費の1/2以内である	☐	
5	前年度繰越金は生じていないか	☐	
6	自主財源の確保に努めている (最低でも前年度の収入を確保しているか)	☒	平成30年度は出演依頼の減少に伴い、出演料が昨年に比べて減少した。活動のPR等を積極的に行う等の取組を実施する等、財源確保策について協議していく。
7	経常経費の節減に努めているか	☐	

※不適の場合は、説明欄に必ず記載してください。

補助金・交付金チェックシート (No. 3)

補助金名
(交付金名)

郷土芸能函館巴太鼓振興会事業補助金

○補助効果の検証

(効果測定方法, 具体的な数値等)

実績報告により事業内容が補助の目的・趣旨に合致しているか確認し, 効果を測定する。

(達成状況)

平成30年度は, 年間を通じて32回のイベント出演や, メンバー養成など郷土芸能の継承事業を行い, 市の文化・観光行政に寄与できたほか, 打手メンバー各自の社会参加意識の向上に効果が得られた。

※継続事業は, 直近の実績 新規事業は, 効果のみ記載してください。

(評価)

十分効果をあげている ☒
一定の効果をあげている ☐
効果が疑問である ☐
その他 ☐

(理由)

○今後の方向性

☐ 現行のまま補助を継続
☒ 見直したうえで補助を継続
☐ 廃止
☐ その他

(見直しの内容)
事業内容や収支状況等を精査し, 補助対象経費の見直しを行う。

(見直しの時期)
令和3年度

(廃止の理由)

(廃止の時期)

(その他の内容)

○終期の設定

終期設定

令和3年度

☐ 終期到来により廃止

☒ 終期到来時に再検討

次回チェック年度(予定)

令和3年度